

小さなぼくの日記

豊子愷児童文学全集第4巻

「どうして大人は…」表題作は大人たちの言動に悩む小さな男の子の物語。激動の時代に芸術を求め続けた豊子愷の魂に触れる。

推薦の言葉：海老名香葉子さん



中国児童文学界を代表する豊子愷先生の児童文学全集がこの度、日本で出版されることは誠に喜ばしいことだと思います。

溢れでる博愛は子供たちの感性を豊かに育て、やがては平和につながっていくことでしょう。

内容紹介

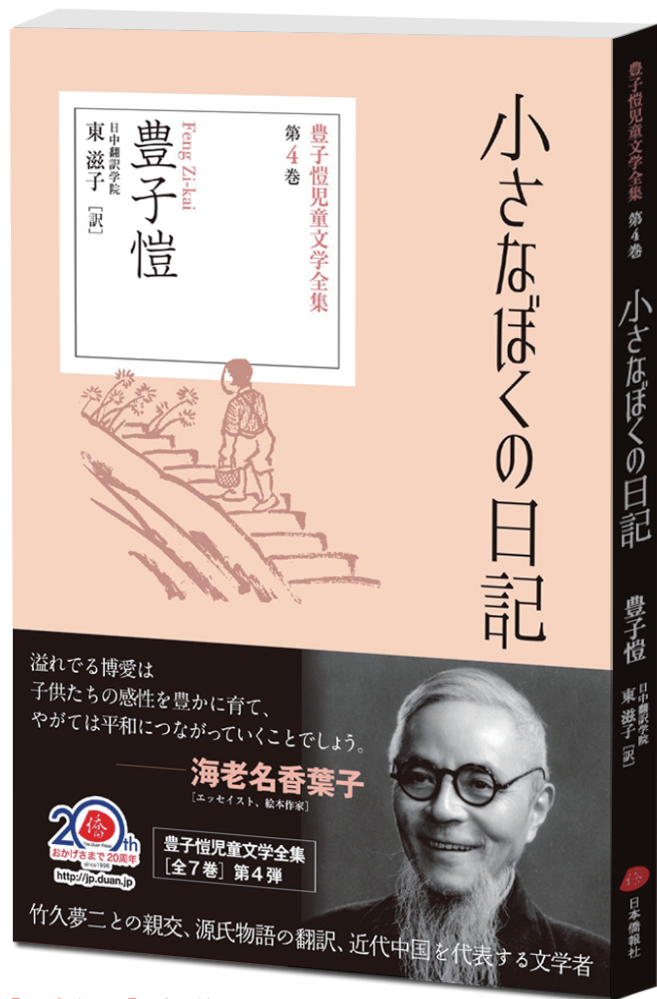
中国近代文壇を代表する豊子愷の児童文学全集第4巻。豊子愷は竹久夢二と親交をもち、『源氏物語』『草枕』の翻訳を手がけるなど日本とも深い関わりを持った。

本書は世界中の子供たちに愛され続けた豊子愷作品の中から教訓と深い寓意を含んだ短編や豊子愷自身の思いの詰まった随筆を収録。表題作『小さなぼくの日記』は子供の目線から大人たちの理不尽な行動をえがき、『蟹』では電車内での些細な行き違いとそれに伴う心情の変化を映し出す。激動の時代にも芸術を求め子どもたちを慈しみ続けた豊子愷の魂に触れる一冊。

【著者紹介】豊子愷（ほう しがい）

近代中国の代表的な漫画家・散文家・翻訳家。1921年（大正10年）日本に短期留学した際、竹久夢二と親交をもち、大きな影響を受ける。子供をこよなく愛し子供向け文学作品を数多く執筆するほか新聞に「子愷漫画」の名でひとコマ漫画を発表し「漫画」という言葉を中国で広めた。その他にも「源氏物語」や夏目漱石の「草枕」の翻訳をしたことでも有名。

豊子愷 著 東 滋子 訳
日本僑報社 ISBN 978-4-86185-192-6



【訳者紹介】東 滋子（ひがし しげこ）

北九州市立大学外国語学部中国学科卒業。北京大学留学を経て、翻訳に携わる。中国語通訳案内士。訳書に『中国の未来』（日本僑報社）。日中翻訳学院武吉塾修了。

ご注文は、日本僑報社 e-shop（中国研究書店）、アマゾンなどをご利用いただくか、またはこのチラシを書店にご提示ください。（トーハン 日販 その他 取次コード：5752）

 おかげさまで 20周年 since 1996	小さなぼくの日記 ISBN 978-4-86185-192-6 発行日：2016年8月2日 四六判 249頁 並製 定価：本体 1500円 + 税 日本僑報社 e-shop http://duan.jp	注文部数 部（送料無料）	ご注文 / 番線印 ご注文の方は、 注文部数、住所 〒、氏名、電話番号をご記入ください
送信 FAX 03-5956-2809			